

工事現場で「橋の勉強会」を開催 ～小学生が建設業の魅力を体感～

記載日：平成 30 年 3 月 2 日

橋梁の建設現場の体験を通して、社会資本整備の魅力を体感頂くとともに、建設業への理解を深めていただくことを目的に、国道 33 号越知道路の橋梁下部工事現場において、2 月 19 日（月）に「橋の勉強会」を開催し、越知小学校の 6 年生の子どもたちに参加していただきました。

今回の勉強会では、現場で採用されている工法（ニューマチックケーソン）について、解説の動画や型枠の見学などにより学んでいただくとともに、高所作業車の乗車体験、ドローン操縦体験、重機（バックホウ）操作体験、コンクリートの締め固め（バイブレーター）体験などのイベントも行いました。参加した小学生からは、橋について詳しく学べて嬉しかった、開通が待ち遠しくなったといった声も聞こえてくるなど、勉強会を通じて、建設現場や事業の魅力をおおいに感じてくれたようでした。



まずはテントでお勉強から。。。



やっぱり重機の体験は大人気！



固まる前のコンクリートの表面を平らにします。
将来有望な子どもたちも多かった・・・！？



最後にみんなで記念撮影！！

越知小学校の皆さまから感想文をいただきました

越知道路 新横倉橋下部工事 見学

平成30年2月19日に、土佐国道事務所が進めている国道33号越知道路の橋梁下部工事において、越知小学校の6年生35名を対象に「橋の勉強会」を開催いたしました。



感想文



小学生からのコメント

- ・仁淀川に新しく出来る橋の工事現場に見学に行きました。現場の人から話を聞いて色々な体験をしました。12mの高さから見る景色もキレイで楽しかったです。
- ・橋は様々な道具や機械が使われて作られている事を知ることが出来ました。
- ・工事見学でドローンを飛ばしたり、ショベルカーの操縦など初めての事を体験し、楽しかったです。
- ・橋を建てるのはすごく大変で時間がかかります。出来たら、頑張って作ってくれたんだなと言いたかったです。